

# 長城の麓に一大リゾート開発 中国・北京

## 明清時代の街並みを再現したテーマパーク

中国・北京市の中心部から車でおよそ2時間。万里の長城(司馬台長城)の麓に古い中国の街並みを再現したテーマパーク「古北水鎮」がある。中国の伝統文化体験や温泉保養ができる新しいリゾートで、長城観光とセットで楽しむ観光客でにぎわっている。北京の国際空港からも近く、日本を含めた海外からの観光客も年々増えている。

### 古北水鎮

中国の旅行会社「中国青年旅行社」などが50億元(約770億円)を投資。2010年7月に着工し、2014年10月にオープンした。昨年は150万人が訪れ、このうち外国人客はおよそ10万人、日本人は過去1200人が訪れたという。

### 天然温泉も湧出 日本人など観光客増える

場所は北京市中心部から北東へ120キロ。北京市の郊外、河北省と接する密雲区に位置し、今から6000年以前から温泉が湧き出ている。北京市中心部から京承高速道路を使って、およそ1時間。清時代の古い建築様式の建物を並べ、飲食、伝統工芸品、京劇や雑技など、中国の伝統文化を再現している。これらを手掛けたのは、民間企業「北京古北水鎮観光開発有限公司」だ。このリゾートは、長城の麓にあり、自然の美しさと歴史の重みを感じさせる。また、天然温泉も湧き出し、日本人など観光客が増えている。このリゾートは、長城の麓にあり、自然の美しさと歴史の重みを感じさせる。また、天然温泉も湧き出し、日本人など観光客が増えている。



古北水鎮の全景。長城の麓、運河の水辺に開発された「人工都市」だ



司馬台長城から古北水鎮を見下ろす



古北水鎮のゲート。ゲストはここを通過して入場する



国内外の観光客でにぎわうパーク内



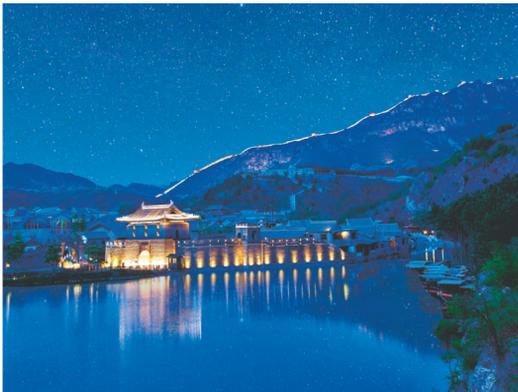
屋内の温泉施設。美肌効果があると評判だ



石畳の道のそぞろ歩きが楽しい



広場にある足湯。天然温泉を使っている



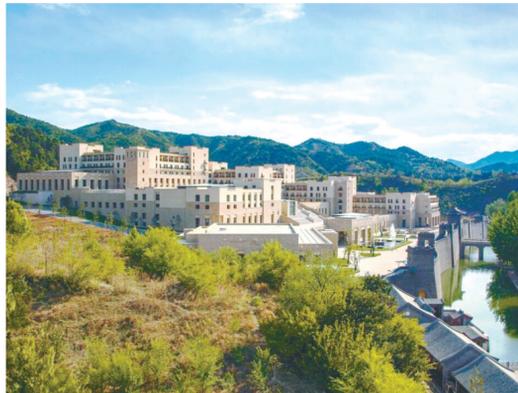
長城は夜にライトアップされる



園内の夜を彩る噴水と炎のショー



長城へはロープウェイで



客室数409室の大型ホテル「水鎮大酒店」

は、源泉温度60度。弱アルカリ性で、美肌効果があるという。日本温泉協会が発行している「温泉の証明書」も掲示している。天然温泉は掘削して設置した無料の足湯や、4カ所の温泉施設に引いている。パークから長城に登るロープウェイが運行されている。山上までの所要時間は7分。明の時代に築かれた壮大な長城の景色を眺めたり、石段を上ったり、悠久の歴史に思いをよせたりと、思い思いの楽しみ方ができる。



故宮建設の歴史を展示する東華門



東華門の内部

北京観光の目玉「故宮」は、紫禁城に昨年、新しいスポットが誕生した。宮殿を囲む宮殿建設の歴史を展示する資料館が、壁の上から城内を俯瞰できる。歴史を学ぶ資料館の模型、柱、釘、装飾品などを展示している。

### 故宮に新しいスポット

### 城壁に登り俯瞰 建築資料館も



城壁の上から城内を俯瞰できる

パークはさらに開発を進め、計画の壮大さには驚かされ、完成度というから、そのいしえの中国文化の体験、長城観光、天然温泉での「古北水鎮」の日本での窓を展示している。展示品はほぼ毎月入れ替え、内容は故宮のホームページで確認できる。故宮南側の午門に壁の上を歩くと、東華門に向かう階段がある。展示品はほぼ毎月入れ替え、内容は故宮のホームページで確認できる。故宮南側の午門に壁の上を歩くと、東華門に向かう階段がある。